

# 第161号 ボランティア通信



## 冬季ジュニアボランティアを開催

冬休みの期間、小学4年生から中学2年生を対象にしたジュニアボランティアスクールを、2日間にわたって開催しました。

12月26日（火）に開催したジュニアボランティアスクールでは、フリースクールの澤田敦子氏より、目隠しをした人の隣で指示しながら福笑いを行い、目の見えない方への分かりやすい説明の重要性について学びました。午後からは実際に盲導犬を利用している船木修氏に講義して頂き、盲導犬になるまでの過程や、指示を出し会場を歩く様子などを通じて盲導犬に対する理解を深めました。

1月5日（金）に開催したジュニアボランティアスクールの2日目は、秋田県車椅子バスケットボールクラブの五十嵐憲男氏を講師に招き、車いすバスケット体験を行いました。最初は車いすに戸惑う姿も見られましたが、徐々に笑顔が増え、車いすを使いボールを持ち、シュートをする体験を通じて障がい者スポーツへの理解を深めました。



## 令和5年度ボランティアのつどい 「語り合いましょう・ボランティア」開催



能代市内でボランティア活動をしている個人や団体の皆さんが、日頃活動をする中で達成感や喜びを実感した経験などについて意見交換を行い、今後の活動に活かすとともに、他団体との交流を目的としたボランティアのつどいを3月8日に開催しました。

今回は、五城目町浅見内活性化委員会の渡邊律雄会長より「お互いさまスーパーみせっこあさみない」の取組について講話をいただきました。その後、各グループに分かれ若い世代が能代市でボランティア団体の担い手になるためにはどうしたらいいかについて、模造紙に付箋を貼りながら意見交換しました。





# 施設ボランティア養成講座を開催



高齢者施設等でボランティア活動をしたい方に向けて、高齢者への接し方や認知症の基礎知識を学ぶ施設ボランティア養成講座を開催しました。午前中は認知症サポーター養成講座として、能代市長寿いきがい課から認知症の症状や認知症の方に対する適切な接し方について、ゆっくりとしたペースで話すことや、相手の症状を理解することで、相手に安心感を与えること等を学びました。午後からは、高齢者の生活の大変さを実感するため、高齢者疑似体験セットを身につけて、階段の上り下りや箸で物をつかむ動きをしてみることで日常生活での課題を理解しました。



## 科学技術高等学校の生徒より寄贈されました!!

能代科学技術高等学校の機械科とJRC部より、それぞれ修理・再生した車椅子と綿枕の寄付をいただきました。機械科3年生の生徒6名が課題研究の授業で修理した車椅子は、「あきた車いすリサイクリング」事業を通して地域で必要とする人達や福祉機器の普及が進んでいない海外の施設等に寄贈されます。

JRC部の生徒と生活文化部の生徒が作製した綿枕は、中袋とカバーがミシン縫いと手縫いで丁寧に仕上げていました。いただいた枕は、福祉施設や在宅高齢者へお届けします。

※JRC部とは、Junior Red Cross（青少年赤十字）の略で、社会の役に立てるよう学校内・外でのボランティア活動を行う部活です。



## ◆◆令和6年度【ボランティア活動保険】更新のお知らせ◆◆

ボランティア保険は、ボランティア活動中の様々な事故によるケガや損害賠償責任を補償する保険です。更新を希望される団体・グループは、加入申込書に必要事項を記入、捺印の上、名簿を添付してボランティアセンターへご提出ください。

また、ニツ井地域の団体・グループは、ニツ井総合福祉センターまでご提出ください。

なお、登録している個人ボランティアの方は、**自動更新**となりますのでよろしくお願いいたします。

### 【お願い】

この通信をご覧になってのご意見・ご感想をお寄せください。

### 【連絡先】能代市社会福祉協議会

能代市ボランティアセンター

TEL：89-6000 FAX89-6800